## 私にとっての「堺セーフシティ・プログラム」

あなたにとっての「堺セーフシティ・プログラム」とはどんなものでしょうか？　この事業に対する一人ひとりその思いや考え方は違っていいのです。子どもたちの教育が大切と考える人もいるでしょう。暗く寂しい夜道を作らないように街灯や監視カメラを増やして欲しいと考える人もいるでしょう。被害にあったときに対応できる仕組みが必要だと考える人もいるでしょう。どれもその人にとって大切な提案です。

一人ひとりがそれぞれに考え、行動していくことが、堺市が安全で安心なまちになっていくために何より大切なことなのです。

そこで問います。さて、あなたならどうしますか？

### あなたが考え、行動したいことを書いてみましょう！

あなたは一人じゃない。
我慢しないで！
パープルリボン

「堺セーフシティ・プログラムについて考えるワークショップ 報告書」平成27年8月発行
【制作・発行】堺市市民協働課・男女共同参画推進課

堺市 SAKAI CITY

女性と女児にとって安全安心なまち堺へ

# あなたにとっての堺セーフシティ、考えてみませんか？

堺セーフシティ・プログラムについて
考えるワークショップ

## 報告書

日時：平成27年8月2日（日）13：00～15：30
場所：堺市総合福祉会館 5階 第3研修室

Outline

1

## Q. 堺セーフシティ・プログラムって何ですか？

### A.

UN Women（ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関）、
UN-Habitat（国連人間居住計画）、UNICEF（国連児童基金）は、
世界の各都市に呼びかけて、セーフシティーズ・グローバル・イニシアティブ
（女性や女児への暴力のないセーフシティ世界計画）という事業に取り組んでいます。

この事業は、道路や公園などの「公的空間」における女性と女児に対する
“ちかん”や“わいせつ”などの性暴力を防止・減少させる防犯モデルを構築し、
誰もが安全・安心なまちづくりをめざしています。
最終的には、世界各都市にそのモデルの提供を行います。
堺市では、「堺セーフシティ・プログラム」としてこの事業に取り組んでいます。

## Q. なぜ堺市なのですか？

### A.

日本では、セーフシティーズ・グローバル・イニシアティブに参加しているのは、堺市だけです。
堺市がこの事業にふさわしい理由は、次に挙げるように、いくつもあります。

- □ 堺市は都市化と情報化が高度に進展した日本の大都市で、伝統的な国際都市である。
- □ 30 年以上の「男女共同参画プラン」の策定実績を持つ自治体である。（1983 年～）
- □ 全国初の「男女共同参画都市宣言」をおこなった自治体である。（1995 年）
- □ 2009 年～ 2013 年「UNIFEM 日本事務所」「UN Women 日本事務所」が設置された都市である。
- □ 市民が主体となり、男女共同参画に意欲的に取り組んできた日本を代表する自治都市である。

## Q. 堺市が参加する意義は何ですか？

### A.

私たちが住むまちの犯罪発生状況などの現状把握と分析を行い、特に被害にあいやすい
女性や子どもへの性暴力を軽減させるため、市全体で対策に取り組むことにより、
本市防犯対策施策の一層の推進を図ることができます。

堺市の防犯好事例がモデル化され、世界に発信されることにより、世界各国や国際機関に
対する「堺市」の知名度、貢献度アップにつながり、堺市の都市格が上がります。



## 提　言

堺セーフシティ・プログラムは、原則5年計画です。
5年後の「すべての人にとって安全・安心なまち堺」の
姿をめざして、市民の皆様と一緒に取り組みます。

### 提言まとめ

2014 年、様々な分野の専門家の協力を得て、市の現状を調査分析し、課題の絞り込みを行いました。
そして研究チームから次のような提言をいただきました。

1. ハード面における安全・安心な生活環境の確保
2. 性暴力被害者支援に関する様々な機関の連携の強化と性犯罪の顕在化の促進
3. 被害者にも加害者にもならないという当事者意識の啓発
   （教育・公開講座・情報リテラシー・市民意識）
4. 安全・安心を支える市民意識の醸成と実践力としての市民参加の強化

### そのために、乗り越えなければいけない課題も指摘されています。

性的サービス産業のコマーシャルが氾濫しており、とりわけ不特定多数の年代層の出入りするコンビニでボルノ漫画等が陳列・販売されています。

この 10 年あまりのアニメ文化あるいは「萌え」文化の浸透とともに、性表現が特定の囲い込まれた表現から、一般的な町の空間に拡散をみせています。こうした市街の公的空間における性的表現の転換は、現在の日本社会における、レイプ被害への社会の意識の弱さ等を考えると問題視すべきです。

世界のインターネット人口はこの 10 年間で 6.3 倍の急成長率を示すと同時に、サイバー空間における女性・女児に対する性犯罪も急速に拡大しています。

サイバー空間での女性・女児に対する性暴力や脅迫犯罪はインターネットの特性上、「匿名性・瞬時性・拡散性」をもって発生するため、公的空間における直接的暴力よりもさらに深刻な被害を与えています。

中高生の IT 機器への依存度の高さや、不審なアクセスが着実に伸びはじめていること等から、中高生がサイバー空間性暴力※の攻撃にさらされやすい状況下にあります。
※サイバー空間性暴力とは：コンピューターネットワーク上の情報空間、多数の利用者が自由に情報を得たりすることができる仮想的な空間で繰り広げられる、あらゆる性暴力事象の情報のやりとりや人格攻撃・精神的脅迫行為。

フィルタリングを含む不正アクセス防止への意識や対策は貧弱で、危機意識の遅れが目立ちます。

犯罪事象である「デート DV」や、SNS・インターネット上でのトラブル等は、子どもたちを取り巻く現代社会において喫緊の課題であり、教職員向け研修等を通じた性犯罪防止教育の推進を通して成果を上げることが望まれます。

刑法犯認知件数は 10 年間で半減したが、そのうち、性犯罪等（強姦、強制わいせつ、略取誘拐）の数は増加しており、被害者の殆どが女性であり、半数弱が 18 歳以下です。

性暴力の実態が表面化し公表されるケースは氷山の一角です。

Rules
ルール

堺セーフシティ・プログラムでは、以下の基本的なルールで取り組みます。

- ルール 1　市役所や警察だけでなく、多くの市民や各種団体が参画する。
- ルール 2　取組み内容が具体的であること。
- ルール 3　継続性があること。
- ルール 4　市民が自主性・主体性を発揮する。

つまり、市民一人ひとりの問題として、みんなで取り組むことがとても大切になります。

Workshop 2

# 堺セーフシティ・プログラム　ワークショップ

**2016年度から、『女性や子どもに対する暴力のない安全安心なまちづくり』をめざした具体的な取組みがスタートします。**

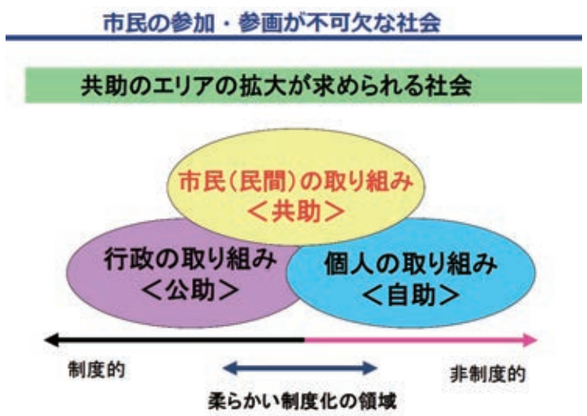
堺市として、どんなことに取り組んでいくことがいいのかを考えるために、市民のみなさんの意見や声を直接聞くためのワークショップを開催しました。ワークショップは、萩原なつ子さんをファシリテーターに迎え、集まった 60 人の市民によって、ワールド・カフェ形式で、「堺市を女性と子どもに対する暴力がないまちにするために、私たちにできることは何か」議論しました。

ワークショップでは、まず初めに、ファシリテーターの萩原さんから、市民一人ひとりが「自分の問題」として自覚し、参加・参画することがこの事業の核心であることなどについてお話しいただきました。その後、取り組むべき課題やその解決策についてメンバーを変えながらグループで話し合い、最後に、そこで出された意見を発表しあい、参加者みんなでそのことを共有しました。

## ～ワークショップを始めるにあたって～

なぜ、「堺セーフシティ・プログラム」は市民一人ひとりの問題なのでしょうか。

堺市が安全安心なまちになると、地域で育つ「子ども」だけでなく、そこに暮らす誰にとっても心安らぐ地域社会となります。今日、安全安心なまちづくりには、自助を基本としながらも、行政、企業、地縁組織、ＮＰＯなどの多様な主体が協力して取り組む、連携・協働による「共助社会」への転換が必要です。自助・共助・公助のバランスのとれた地域づくりを目指して、一人ひとりの意識や行動を変えることが求められています。




引用：「認定 NPO 法人日本 NPO センター」

※ワールド・カフェとは、小グループで席替えを繰り返しながら、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られる話し合いの手法のこと。



# 実践！ワークショップ

Programm

## プログラム

lecture

萩原なつ子さん
講義

START!

4人グループに分かれて
ワールドカフェのスタート

質問1

女性や子どもに対する暴力に関するイメージについて、思いつく限り、付箋に書き出してみましょう

思いつくことを
付箋に書き出す

思いつくことを
付箋に書き出す

チームに1人残して、
他の3人のメンバーは
他のチームへ移動

新しい
メンバーで

質問 2

「女性や子どもに対する暴力のないまち堺」を実現するには、どのような取組みが有効だと思いますか？

最初の
グループへ
戻る

質問 3（質問2と同じ）

「女性や子どもに対する暴力のないまち堺」を実現するには、どのような取組みが有効だと思いますか？

思いつくことを
付箋に書き出す

チームで模造紙に
考えをまとめる

GOAL!

チームごとに発表

ファシリテーター

**萩原なつ子**

立教大学大学院
21 世紀社会デザイン研究科教授
認定非営利活動法人
日本 NPO センター副代表理事

Profile

内閣府「男女共同参画推進連携会議」議員。文部科学省「中央教育審議会生涯学習分科会」委員等を歴任。
大学で教鞭をとる傍ら、市民参加型の様々なワークショップに関わっており、広範なネットワークを生かして、ユニークで斬新なイベントを仕掛けている。

VOICE

# ワークショップ参加者の声・意見

実際に参加者からは、どのような声や意見が多かったのでしょうか。
それぞれの質問に関し、件数ごとに内訳をまとめてみました。

## 質問 1

女性や子どもに対する暴力に関するイメージについて、
思いつく限り、付箋に書き出してみましょう

### 第1位 暴力の種類について言及した意見の内訳

総数121件中の内訳

76件

| DV | 性暴力 | ちかん | 虐待・子どもに対する暴力 | 適切な食事や行動を制限する | 言葉などの精神的ダメージを与える暴力 | その他※ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 10 | 8 | 8 | 7 | 6 | 5 | 32 |

※その他：ストーカー／モラルハラスメント／人間べっ視、人権侵害など

### 第2位 暴力の要因について言及した意見の内訳

27件

| 力が弱い（力関係）弱者いじめ | 上下関係（男が上）男女差別 | 夜間・夜道 | 貧困 | 家庭環境・家族に問題がある | その他※ |
|---|---|---|---|---|---|
| 11 | 8 | 2 | 2 | 2 | 2 |

※その他：世の中の縮図のよう、事件が多すぎる／コミュニケーションの欠如 など

### 第3位 暴力から連想するイメージについて言及した意見の内訳

13件

| 人に相談しにくい・泣き寝入り | 卑怯・人として最低の行為 | 無抵抗 | その他※ |
|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 2 | 2 |

※その他：男性のエゴ／地域の人や職場の人からも受ける／夫・恋人から受けやすい（身近な人から）／ 表面化しにくい／オレンジリボンなど

### 第4位 暴力による被害について言及した意見の内訳

4件

| トラウマ・心の傷 | 二次的被害 |
|---|---|
| 2 | 2 |

## 質問 2

「女性や子どもに対する暴力のないまち堺」を実現するには、どのような取組みが有効だと思いますか？

### 個人レベルでできると思うこと

※総数40件中の内訳

#### 第1位 地域コミュニケーション

27件

| あいさつ | 近隣と仲良く、声をかける・近所づきあい | 無関心にならない | 子どもたちへの声かけ | 暴力を見つけた（見かけた）ら必ず通報 | その他※ |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 5 | 4 | 4 | 3 | 6 |

※その他：見て見ぬふりをしないで叱ってやる／知っていることを発信／子どもの逃げ場、居場所づくりなど

#### 第2位 防犯意識の向上

7件

| 登校時に合わせて庭そうじ・ゴミだし・水やり | 防犯意識を持つ | 暗いところはさけるところや人気のない | センサーライトをつける |
|---|---|---|---|
| 2 | 2 | 2 | 1 |

#### 第3位 教育・学習

6件

| 子どもには門限を決める | 家庭での話し合い | 子どもに性教育 | ボランティア教育 |
|---|---|---|---|
| 3 | 1 | 1 | 1 |

### 地域レベルでできると思うこと

※総数53件中の内訳

#### 第1位 地域活動

23件

| パトロール隊を結成 | 公園やスーパーのトイレの整備・街の美化 | 危ないところを探して改善する | 様々な人たちがアクセスできる情報掲示板を作る | その他※ |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 9 |

※その他：町ぐるみのイベント／こども110番の家を増加／ホットスポットパトロールの強化／子どもを連れて高齢者宅を訪問する（こども会）など

#### 第2位 自治会

7件

| 自治会に加入する | 加入しやすい自治会組織をつくる（行政も共に考える） | 性別関係なくする | 地域の役割分担は | その他※ |
|---|---|---|---|---|
| 4 | 1 | 1 | 1 | |

※その他：社協・連合自治会へも資金の協力依頼

#### 第2位 居場所づくり

7件

| 近所の人たちとコミュニケーションをとれる場所を作る | 子どもが相談しやすい環境づくり | スポーツなど通じてコミュニケーションの場を増やす | その他※ |
|---|---|---|---|
| 4 | 1 | 1 | 1 |

※その他：ワンストップセンターをつくる

#### 第6位 行政への要望

2件

□学校の先生が校外（職務外）でも活動できるように法律を改正してほしい
□法律の制定（改正）

#### 第2位 知識教養の向上

7件

| 性被害の防止とともに対応策を学ぶ | ボランティア教育（小学校で取り組む） | 男性に向けての教育→教育の重要性 | その他※ |
|---|---|---|---|
| 2 | 1 | 1 | 3 |

※その他：行政をまきこんだ啓発活動／加害者にも被害者にもならない→CAP、性暴力（性教育）

#### 第2位 環境整備

7件

| 暗い場所では街灯、防犯カメラ | 死角を作らない街づくり | コンビニでアダルト雑誌を堺は売らない |
|---|---|---|
| 3 | 2 | 2 |